

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 渡辺 憲

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857) 27-5566



渡辺 委員長

●渡辺委員長挨拶(要旨)
本日は猛暑のなか、ご参集いただき御礼申しあげます。医師国保組合会から引き続きご出席の先生には長丁場になるが、よろしくお

り。執行委員会の主な議事、国会報告の概要は次のとおり。

鳥取県医師連盟は、七月二十七日、ホテルニューオータニ鳥取において執行委員会を開催し、令和4年度事業報告、収支決算を承認した。
また、3年ぶりに国会報告として衆議院議員の石破 茂代議士、藤井一博参議院議員から講演をいただいた。

『3年ぶりに国会報告』 執行委員会

願いたい。ご案内のとおり、新型コロナウイルス感染症が5月8日に5類に変更されたので、今まで、オンライン開催の会議が主流であったが、本日は参集しての会議とした。本日の議事は令和4年度事業報告と収支決算、日医連の医政活動研究会報告、国会報告である。通常国会が6月21日に閉会となり、内閣不信任案の提出、解散総選挙かもしれないとの観測があったが見送られた。しかし、10月で任期の半分の折り返しになるので、いつ解散が

あってもおかしくない政治状況である。そこで、本日は、国会報告として石破先生、藤井先生の講演を企画した。どうぞよろしくお願います。

●議事

○令和4年度事業報告

令和4年度の主な事業報告(一部令和5年度分を含む)について小林副委員長から説明がなされた。詳細については別記のとおり。



小林 副委員長

○令和4年度収支決算承認について

令和4年度収支決算では、会計責任者の瀬川委員から説明がなされ、宮崎会計監督者から適正である旨の監査報告があり、賛成多数で決算が承認された。詳細は8頁のとおり。



監査報告
宮崎 先生



会計報告
瀬川 先生

○令和5年度地区連絡費

令和5年度の地区連絡費は令和4年度と同様に負担金納入額の20%を交付することと決定した。

○自民党員の拡張について

日本医師連盟から「1割増」の党員拡張の要請文が届いた。来年の診療報酬、介護報酬等のいわゆるトリプル改定に向けて自民党の評価を高めるためとして自民党員の拡張を求めている。現在、215名が入党している。対応としては、まず地区医師会の役員、職員に入党を強く要請する書面を送付する。更に開業医(A1会員)について未入党の先生方へ入党のお願い



会場

日本医師連盟 医政活動研究会

の書面を送付する。入党にあたっては、活動の義務は一切なく、また党費について先生方の負担を求めない。多数の入党をお願いしたい。

5月28日、東京で開催され、出席した渡辺委員長、小林副委員長から会議報告書、日医連ニュースをもとに説明、伝達を行った。組織強化が喫緊の課題であること、選挙の時のみならず

日ごろから国会議員等政治家との連携を深めていくことが重要である。

1 挨拶 (要旨)

○日医連 松本吉郎委員長

本日は休日に全国からご参集いただき感謝申し上げます。久しぶりに対面での開催で、全国の情報共有、本日の議論を地元を持ち帰って議論いただきたい。経済財政諮問会議でいわゆる「骨太の方針2023」策定にあたり自民党の政調会議で議論しており、来年のトリプル改定に向けて基本方針が決定される大変重要な局面である。自民党国会議員と良好な関係を築いていただき日本医師会の主張を会議の場で発言いただきたい。5月26日の会議には80人を超える国会議員の出席があり社会保障の財源をしっかりと確保するべきとの発言をいただいた。29日も予定されている。社会保障費の財源確保が非常に大切である。日ごろから地方議員選挙への取り組みをお

願いたい。

○羽生田たかし参議院議員

日ごろ大変お世話になっており感謝申し上げます。現在2期目で厚生労働副大臣を拝命し主担当は労働である。私は前橋市医師会理事の時にこの医政活動研究会に参加したことがある。医療従事者の賃金のもとは公定価格である診療報酬であり、政治マターで決着する。生活を守っていかねればならない。政治の根幹は地域である。地域の議員は自民党県連が決めるので地元の議員としっかりと関わることが大切である。

○自見はなこ参議院議員

昨年の参議院選挙では大変お世話になり感謝申し上げます。自衛隊の候補者が落選し、各団体が票を減らす中、得票を伸ばし2期目、社会保障関係候補者の中で1位当選した。内閣府政務官を拝命してこども家庭庁の政策を担当している。か

かりつけ医機能は制度化ではなく、「確認」の文言は行政行為(行政庁の処分)ではないことで決着した。こども財源3兆円確保にあたり社会保険料に500円上乗せの案があるが、自民党では容認できないとして岸田総理に伝えており大変重要な局面である。全国の先生方のお力添え、地方議員の支援をお願いしたい。

2 講演

(1)「医政活動の重要性」

松本吉郎委員長

喫緊の課題は組織強化である。医師会の役割は国民の生命と健康を守ること、医師の医療活動を支えることである。日本の医師数は33万9,623人(2020年厚生労働省調査)、日医会員数は17万3,761人で組織率は51.2%である。何としても50%切ることは阻止しなければならぬ。組織の発言力が弱くない。日医未入会の都道府県医師会員、郡市区医師会員

の日医入会促進をお願いしたい。特に大学医師会へのてこ入れが重要であり役員が出向いて入会をお願いしてほしい。卒後5年間は会費無料化した。異動が激しいがその都度の届け出は不要としてはどうか。医療政策実現のためには医療現場の意見を国政、省庁へ組織として提言・陳情するには組織力強化が必要だ。処方権が欲しいとの団体があり国政へ国会議員を送るべく奮闘している。国民皆歯科検診検討の文言が骨太の方針に書かれて実現してしまふ事例がある。自民党への入党を医師連盟役員、職員、家族等促進してほしい。参議院選挙で組織内候補は医療・介護系候補者の中で1位当選とならなければならない。得票数が発言力のバロメーターである。いまだに参議院選挙の比例区の投票で政党名を書く人が多く、個人名での投票は約25%にすぎない。医政活動では議員との人間関係構

築、選挙での支援、日常の政治活動への支援の3つが大切である。かかりつけ医はあくまで国民が選ぶものである。国民にかかりつけ医を持つことを義務づけたら、割り当てたりすることには反対である。我々医師も研修を積まなければならぬ。財務省は法的に明確化、認定制度などを目論んでおり医療費定額制、人頭払いなど医療費削減を狙っており、健保連はかかりつけ医「1人」を提案している。最近ではナースプラクティショナーに関する議論があり日医、病院団体などは国民の医療安全の観点から「反対」を表明している。フランスではNP制度がスタートしており、リフィル処方せんどころではないとんでもない話である。これから骨太の方針策定、年末の予算編成、診療報酬改定の議論が進む。日医連、県医連、郡市区医連の協同での医政活動展開してほしい。

(2) 「社会保障を知る・考える」

田村憲久衆議院議員

コロナ対応では先生方が大変お力添えをいただき、苦労をおかけした。世の中には日本の医療はうまくいかなかったという人がいるが、世界中からは日本はよくやったと言われている。ワクチン接種、入院、重症化予防など。死亡は老衰や心不全などが増えた。コロナ対応と一般医療の両立が重要である。かかりつけ医の問題では概念が決まっておらず、いろいろな診療科がありゲートキーパーにはなれない、無理な制度である。昔毎年2000億円削減の政策があった。社会保障費全体では毎年伸びているのに医療だけがずっと押さえられてきた。財務省は自分らの都合のいい数値、データしか出さない。医療従事者の給与も上がっていない。薬剤等承認申請のないものやドラッグラグの問題がある。医療技術革新な

ど関係者が協力して対応していくべきだ。2040年に入院医療、2029年に外来、2035年頃に在宅医療がそれぞれピークになると言われている。一方、医師をはじめ医療従事者は減少傾向であるので医療提供体制を考えていく必要がある。薬価見直しの問題がある。医師の働き方改革で大学が医師を派遣できなくなる恐れがある。アルバイトしないとし計が成り立たない、労働時間の管理などがあり、残業代が大学病院全体で950億円増えるとの試算がある。医師派遣で影響が懸念される。医療には費用が必要で、人件費、物価上昇などの費用を骨太の方針にしっかりと書かないと年末の診療報酬改定議論で戦えない。全力で対応しなければならぬ。先生方におかれては地元の方針に議員に対して骨太の方針に社会保障費のことを書き込むように要請していただき

たい。我々社会保障関係議員も心を一つにして戦う。いつかある衆議院の解散選挙では地元の自民党議員をよろしくお願いしたい。

3 都道府県医師連盟からの活動報告

参議院選挙における会員1人あたり得票数の上位4県（福岡県、群馬県、熊本県、鹿児島県）、東京都から活動報告があったのち、意見交換が行われた。

○主な意見交換

・若手医師への危機感を伝えること、成功体験を共有すること。

・かかりつけ医機能のにおける「確認」のことは重要である。地域医療構想のこと、外来機能報告制度のこと、診療報酬のことなどを伝えるべきだ。

・組織強化は重要なことであり、20代30代医師の考えを聞くこと。会費無料化、医賠償保険について学会保険より日医の保険がメリットあることを伝

える。毎年約9,500人の医師が誕生しておりそのうち約3,500人の研修医が入会しているので組織率は毎年下がっている。5年間は会費無料なのでまずは入会していただかないと勝負にならない。

・選挙は「熱量×時間」で評価できる。平時からの会員の政治活動が重要で、選挙の時だけではダメだ。若手、勤務医へはなぜ医師会が必要なのか、医政活動の重要性を説くこと。

・病院などでコメディカル団体の候補者と活動との折り合い、整合はどうするか。院内での活動を慎むこと、医療の代表は医師であると説明する、院内でハレーションを起こさないようにすること。・主義主張はいろいろあるが政権与党を支援すべきである。

令和 4 年度鳥取県医師連盟の事業概要

(一部令和 5 年度を含む)

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 7 月 27 日現在

[敬称略]

1. 鳥取県医師連盟関係

■執行委員会

<第 1 回>

- 日 時 令和 4 年 7 月 28 日
- 場 所 テレビ会議
- 議 事 ①役員、執行委員の人事異動について
②令和 3 年度事業報告について
③令和 3 年度収支決算承認について
④令和 4 年度地区連絡費について
⑤日本医師連盟執行委員会の出席報告
⑥第 26 回参議院議員選挙結果、総括について

※令和 5 年度

<第 1 回>

- 日 時 令和 5 年 7 月 27 日
- 場 所 ホテルニューオータニ鳥取
- 議 事 ①令和 4 年度事業報告について
②令和 4 年度収支決算承認について
③令和 5 年度地区連絡費について
④日本医師連盟医政活動研究会伝達
⑤国会報告(石破 茂代議士、藤井一博参議院議員)

■常任執行委員会(拡大:理事会後)

<第 1 回>

- 日 時 令和 4 年 4 月 7 日
- 場 所 鳥取県医師会館
- 議 事 ①自見はなこ支援活動における担当県議会議員との連携について
②栄養士連盟支部に対する働きかけについて
③自見はなこ後援会活動における対策会議について
④サポーター名簿獲得状況、ライン友だち登録件数について
⑤第 26 回参議院議員通常選挙における推薦候補者との政策協定締結について
⑥令和 4 年度負担金の徴収について

<第 2 回>

- 日 時 令和 4 年 5 月 19 日
- 場 所 鳥取県医師会館
- 議 事 ①日本医師連盟常任執行委員会、執行委

員会の出席報告

- ②自見はなこサポーター名簿収集の更なる促進について
- ③サポーター名簿獲得状況、ライン友だち登録件数について
- ④自見はなこ先生オンライン演説会の開催について
- ⑤自見はなこ選挙ハガキの宛て名書きについて

<第 3 回>

- 日 時 令和 4 年 6 月 23 日
- 場 所 鳥取県医師会館
- 議 事 ①第 26 回参議院議員選挙について
②サポーター名簿獲得状況、ライン友だち登録件数について
③自見はなこ総決起大会について
④日本医師連盟執行委員の推薦について
⑤執行委員会の開催について

<第 4 回>

- 日 時 令和 4 年 7 月 21 日
- 場 所 鳥取県医師会館
- 議 事 ①第 26 回参議院議員選挙結果について
②サポーター名簿獲得状況、ライン友だち登録件数について
③日本医師連盟執行委員会の出席報告について
④執行委員会の開催について

<第 5 回>

- 日 時 令和 5 年 1 月 12 日
- 場 所 鳥取県医師会館
- 議 事 ①鳥取県知事選挙対策について
(推薦を決定。同日開催の医療懇話会出席の平井知事に推薦状を手交した。)

※令和 5 年度

<第 1 回>

- 日 時 令和 5 年 5 月 18 日
- 場 所 鳥取県医師会館
- 議 事 ①令和 5 年度負担金の徴収について
②日本医師連盟医政活動研究会について
③医師連盟執行委員会の開催について

④赤澤りょうせい君を励ます会について

<第2回>

日時 令和5年7月20日

場所 鳥取県医師会館

議事 ①自民党員の拡張について

②医師連盟執行委員会、国会報告会の運営について

2. 日本医師連盟関係

■日医連執行委員会

<第1回> 執行委員会

日時 令和4年5月17日

場所 ハイブリッド

出席者 渡辺委員長（日医会館）、明穂副委員長（県医Web）、日医会館随員：谷口

議事 ①令和4年度日本医師連盟負担金について（例年通り30%に決定）

②参議院選挙について（支援体制、期日前投票の活用等、ガンバローコール）

<第2回> 執行委員会

日時 令和4年7月19日

場所 Web会議

出席者 渡辺委員長

議事 ①日本医師連盟役員人事について（松本委員長以下役員を決定）

②参議院選挙について

※参議院選挙で当選した自見はなこ先生、全国比例区の特選第1位で当選した藤井一博先生、福島県選挙区で当選した星北斗先生から挨拶があった。

<第3回> 執行委員会

日時 令和5年1月17日

場所 日本医師会館

出席者 渡辺委員長、事務局随員：岡本、谷口

議事 ①令和3年度日本医師連盟収支決算報告について

②令和5年度日本医師連盟の負担金基準額について

③参議院議員選挙について（公募することとした）

④その他（かかりつけ医機能が発揮される制度整備）

※令和5年度

■日医連医政活動研究会

日時 令和5年5月28日

場所 サピアタワー（東京駅）

出席者 渡辺委員長、小林副委員長、事務局随員：岡本、谷口

講演 ①「医政活動の重要性」日本医師連盟

松本吉郎委員長

②「社会保障を知る・考える」田村憲久衆議院議員（元厚生労働大臣）

都道府県医師連盟からの活動報告：福岡県、群馬県、熊本県、鹿児島県、東京都意見交換

3. 選挙関係

■第26回参議院議員通常選挙（令和4年7月10日施行）

【鳥取島根合区】

投票率 鳥取48.93% 島根56.37% 合区計52.99%

| | 鳥取 | 島根 | 計 |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 青木 一彦（自民） 当選 | 124,639 | 202,111 | 326,750 |
| 村上泰二郎（立民） | 55,505 | 62,558 | 118,063 |
| 福住 英行（共産） | 17,693 | 20,030 | 37,723 |
| 前田 敬孝（参政） | 13,550 | 13,168 | 26,718 |
| 国瀬 信明（N国） | 6,250 | 7,267 | 13,517 |

【比例区】

| | 鳥取 | 全国 | 備考 |
|-----------|-------|---------|-------------------|
| 藤井 一博（自民） | - | - | 自民党特選第1位当選 |
| 自見はなこ（自民） | 1,372 | 213,369 | 自民党第8位当選（当選は18議席） |

※令和5年度

■鳥取県知事選挙（令和5年4月9日投票）

投票率 48.85%（敬称略）

| | | |
|----------|---------|------------------|
| 平井伸治（現職） | 200,442 | 当選（5期目） 県医推薦 |
| 福住英行 | 17,822 | 日本共産党 鳥取県常任委員 |

4. 参議院選挙対策

■青木一彦参議院議員鳥取後援会設立役員会

日時 令和4年4月2日

場所 ホテルニューオータニ鳥取

出席者 渡辺委員長（※鳥取県医師連盟委員長あてに就任要請、副会長に就任した。）

■青木一彦参議院議員との政策協定の締結

日本医師連盟からの指示により、令和4年4月7日付けで政策協定を締結し、4月14日、日本医師連盟へ写しを送付、報告した。政策協定の内容

は、日本医師連盟がモデルとして示した内容とした。

■ 自民党職域支部長会議

日 時 令和4年6月12日

場 所 白兔会館

出席者 明穂副委員長（職域支部長代理として出席）

■ 自見はなこ先生オンライン演説会

令和4年6月13日（月）午後6時30分から、Webにて開催した。渡辺委員長の挨拶に続き、自見はなこ参議院議員から立候補に向けてのあいさつ、支援の要請があった。事前申込み、当日連絡MLでミーティングIDを配信し、約40名の視聴があった。松田中部医師連盟委員長、根津西部医師連盟委員長から激励のあいさつをいただいた。（石谷東部医師連盟委員長は患者対応のため出席できず）

■ 自見はなこ総決起大会

令和4年6月24日、東京国際フォーラムにおいて開催され、渡辺委員長、清水常任執行委員、事務局（岡本、小林、岩垣）が出席した。日本医師連盟など支援団体などから激励の言葉があり、自見はなこ先生の決意表明、ガンパローコールで氣勢をあげた。大会の様様についてはYouTubeにてライブ配信された。

■ 羽生田たかし参議院議員が自見はなこ候補の応援

令和4年7月7日開催された、鳥取県健康対策協議会理事会（3地区～Web）終了後、自見はなこ候補への支援の呼びかけを行った。当日は、健対協の役員（医師会役員、行政、大学教授）が出席しており、自見はなこ議員の6年間の実績等を披露し、個人名での投票を呼びかけた。

5. その他

○ 広報活動としてリーフレット「医師連盟 TOTTORI」の発行

2回（第40号：令和4年4月25日、第41号：令和4年8月25日）発行した。

○ 赤澤りょうせい政経セミナー

令和4年4月18日、東京都内で開催され、パーティ券5枚を購入した。

○ 自見はなこ政策セミナー

令和4年11月15日、東京プリンスホテルを会場にハイブリッドで開催され、渡辺委員長が会場に参加した。なお、当日は、都道府県医師会長会議が日本医師会館で開催され、会議終了後、バスで移動して参加した。

令和5年3月7日、ホテル ルポール麴町において開催され、パーティ券2枚を購入し、Webにて参加、視聴した。

○ かかりつけ医機能が発揮される制度整備についてのお願い

健康保険法等の一部を改正する法律案に向けて、日本医師会からの要請に基づき、衆参国会議員あてに令和5年1月20日付け書面で、かかりつけ医機能の要件まで法文で一律に定めるべきではない旨、理解と政府への働きかけをお願いした。

○ 平井しんじ後援会役員会

令和5年4月9日施行の知事選挙に向けて立候補表明した現職の平井知事の後援会役員会が1月31日、白兔会館において開催され、渡辺委員長（医師会長）が出席した。

○ 自民党から感謝状を受賞

自民党の党大会が令和5年2月26日、東京都内で開催され、渡辺委員長が出席した。

大会席上、党勢拡大に貢献した功績により団体として鳥取県医師連盟に感謝状、金一封が贈られた。



○ 羽生田たかし君と明日の医療を語る会

令和5年3月25日、ホテルニューオータニにおいて開催され、パーティ券5枚を購入し、清水常任執行委員、事務局3名が参加した。なお、当日夜、中国四国医師会連合常任委員会、翌日には日本医師会臨時代議員会が開催された。

※ 令和5年度

○ 「骨太の方針2023」集約にあたって国会議員への働きかけ

日医連から令和5年5月25日付け、都道府県医師連盟あてに「骨太の方針2023」集約にあたって自民党政調全体会議が開催（5月26日、29日）されるので、地元選出の自民党国会議員への働きかけをお願いしたいとの要請があった。5人の国会議員へ書面（FAX）、電話で要請した。

[以上]

国会報告

○藤井一博参議院議員



参議院議員となって1年、ご支援に感謝申しあげている。日々多くの会議に奮闘している。私は45歳で社会では中間管理職の年代だが国会では平均年齢57歳なので若手になる。自民党青年局は45歳以下の国会議員、地方議員で構成されており20年先の国政を考える組織で副局長を拝命している。

東日本大震災当時私は横須賀の病院で診療中であつた。福島原発を視察し、原子炉建屋に近づくと放射線量が非常に高くなる。資源のない日本でどう未来を作るのか、再生エネルギーの確保、廃炉までの必要な課

題が多くある。北方領土も視察した。第二次大戦後ロシアが不法占拠して80年になる。当時1万7千人の日本人が生活していたが、いまではロシア人が1万8千人暮らしている。元島民の平均年齢は87歳と高齢化している。国境付近の海にある中間線を越えたと逮捕される。返還要求は発信し続けなければならない。

国会には医師議員が衆議院12名、参議院11名の23名いる。自見はなこ議員の指導を受け、物価高対策など医師として力を併せて団結して対応している。医療費削減の財務省の考えには反対であり、皆保険制度は堅持し、ICTを活用した医療連携も重要である。

鳥取県出身議員の課題として少子化対策、人口の都市部集中対策が重要である。進学や就職で都会に行き、帰省したくても仕事環境、教育環境、地方で結婚できない、子どもが持てないなど課題が多いが予算不足から実現できていない。水田、稲作の維持、補助には限界がある。世界に人気

が出つつある日本酒を売り込む。ワインは赤か白、日本酒は冷やか痢と言えば分かりやすい。石破代議士がラーメン連盟の会長でラーメンも発信したらいい。

自民党の会議で最後に石破代議士が手を挙げて発言される、先生の偉大さを感じる。今後皆さま方の力になれるよう頑張りたい。

○石破 茂代議士



本日はお招きいただき感謝申しあげる。国会議員になって38年、7番目となった。国会議員にはいろんなタイプがいるが自分の言葉で自分の考えを述べる人は少ない。女性に愛を告白する時に原稿を読む男性はいない。藤井議員は自分の言葉で演説するタイプでいい議員になる。国会は減点

主義で意見すると、雉も鳴かずに撃たれまいという空気がある。明治時代の国会は、貴族院は納税額で選出されていたが、衆議院は選挙で、国民の代わりに議論する武士だから「代議士」と言われている。自分の言葉でないと選挙民の心は打たれない。大臣の頃、間違えてはいけないので数字だけは原稿を読んだ。国会は法律を作るところで野党について賛成はしなくとも理解、納得してもらおうことが大切だ。

国会は当選回数で役職が変わる。自分は社会福祉をやったかったが当選2回の時、派閥の人事で農林政務次官、今の政務官についた。議員は、できないことをあたかもできると言っただけはない。第2次世界大戦で米国と戦争したがGDP、戦車、石油など日本の何倍もの国力に差があるのに精神論で戦争に突入した。兵庫県選出の齋藤隆夫議員が何のために日中戦争するのか、大儀はどうかと批判する演説を行い、国会議員を除名された。

人口減少、少子化が言われているが母となる女性人口が現在より25%減少することは確定している。人口減少における社会をどう作るのか、人口維持は難しい課題である。

国民皆保険の維持も難しい。昔の国民病は結核であり労災であった。今はがん、心臓病、認知症などで昔と病気が異なる。どう維持していくのか検討が必要だ。

マイナンバーカードはやるべきで医療ITなどで負担を減らすべきだ。国別のヘルスリテラシーでは日本は低い。医療用麻薬の使用量の国際比較でも日本は低位。防衛費の議論で人口減少にあつて借金などほとんどない話である。検診を受けた人と受けない人の医療保険が同じというのはどうか。ロシアのウクライナ侵攻は終息が見えないがプーチンは核を使う可能性もある。中国、ロシア、北朝鮮の連携は怖いことだ。日本には核シェルターの配備がほとんどない。引き続きのご支援をよろしくお願

令和 4 年度鳥取県医師連盟収支決算報告書

【収入の部】

(単位：円)

| 款 | 項 | 収入額 | 摘 要 |
|----------------------|-----------|------------|--|
| 1. 会 費 (36.90%) | | 11,030,000 | |
| | 1. 会 費 | 11,030,000 | |
| | 2. 特別会費 | 0 | |
| 2. 寄 付 金 (9.43%) | | 2,820,500 | 交付金 2,142,000円 (日医連負担金の30%バック) 第26回参議院選挙にかかる交付金 |
| | 1. 日医連寄付金 | 2,820,500 | |
| 3. その他の収入 (0.00%) | | 144 | 普通預金利息 |
| | 1. 雑 入 | 144 | |
| 4. 繰 越 金 (53.67%) | | 16,042,656 | 前年度繰越金 |
| | 1. 繰 越 金 | 16,042,656 | |
| 収 入 合 計 | | 29,893,300 | |

【支出の部】

(単位：円)

| 款 | 項 | 支出額 | 摘 要 |
|----------------------|------------|------------|---|
| 1. 事 務 費 (1.23%) | | 168,987 | 消耗品、口座振込手数料、送料他 |
| | 1. 一般事務費 | 168,987 | |
| 2. 組織活動費 (10.78%) | | 1,479,604 | 国民政治協会費 医師連盟TOTTORI発行費 (2回) |
| | 1. 旅 費 | 337,700 | |
| | 2. 会 議 費 | 50,731 | |
| | 3. 懇 談 会 費 | 290,840 | |
| | 4. 負 担 金 | 60,000 | |
| | 5. 広 報 費 | 740,333 | |
| 3. 選挙関係費 (10.92%) | | 1,500,000 | 陣中見舞 2 件 |
| | 1. 寄 付 金 | 1,500,000 | |
| 4. 寄付交付金 (77.07%) | | 10,584,050 | @20,000円×357人 令和4年度地区連絡費 第26回参議院選挙にかかる地区医師連盟への交付金 @2,700円×215人+手数料550円 |
| | 1. 日医連負担金 | 7,140,000 | |
| | 2. 地区連絡費 | 2,863,000 | |
| 5. その他の経費 (0%) | | 0 | |
| | 1. 予備費 | 0 | |
| 支 出 合 計 | | 13,732,641 | |

収支差引残額 16,160,659 円 は令和 5 年度へ繰越